

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和8年度第1回朝霞第七小学校学校運営協議会	
開催日時	令和8年4月21日（火） 午後1時30分～午後3時00分まで	
開催場所	朝霞第七小学校 1F第2図工室 朝霞市北原2-6-1	
出席者及び欠席者の職・氏名	学校運営協議会委員5名 事務局 1名（朝霞第七小学校教頭） 欠席者 3名	
議題	1. 令和8年度学校経営方針について 2. 令和8年度学校行事計画 3. 熟議・意見交換・承認・懇談	
会議資料	・次第 ・令和7・8年度 学校運営協議会 委員名簿 ・朝霞市学校運営協議会規則 ・学校運営協議会委員報酬等の支払いについて ・令和8年度 朝霞第七小学校 学校経営方針 ・学校だより令和8年度4月号 ・令和8年度年間行事計画 ・朝霞第七小学校予算執行の推移	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 1人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 学校長あいさつ

2 委員長、副委員長の再選任

→石井裕久 会長再選任、並びに、勝瀬亮助 副会長再選任

3 学校運営協議会について

事務局より委員名簿、規則、役員報酬について説明

4 協議

・令和8年度学校経営方針について

学校経営方針を柱にして、いじめ問題、不登校児童の増加、課題はあるが、子どもを中心に据えて、共通理解を図り、早期に解決し、見届けを行っていく。
→承認する。

・令和8年度学校行事計画について

事務局より年間行事計画について説明

・熟議・意見交換・承認・懇談

→・昨年度、学校応援団を再び立ち上げた。この3月に、卒業生（6年生）向けにチラシを配布した。数名のアポイントを得ている状況。SSRの見守りから始めたいと考えている。懸念材料としては、見守る児童やその保護者と顔見知りである可能性がある。個人情報保護の観点で課題はないのか心配している。

・大学生にお願いするというのはどうか。

→十文字学園女子大学との連携を検討している。その際も保険をどうするのか課題となる。朝霞市内在住の学生に限定することも考えている。また、児童の対応を学生に任せても良いのかという根本的な課題もある。

・学校応援団は会費のない団体である。互助会等のためにお金を集めるか検討している。これまで、活動を少しずつ整えてここまでやってきた。

→以前は会費を集めていた。参加者名簿の提出を求められるが、行政の学校活動のための保険もある。

・ふれあい祭りについて、義務教育の卒業は中学校である。その裾野に小学校が位置していると考え。イニシアティブは中学校がとるべき。二中を会場として行うのが妥当であろう。小学生に中学校を見せたいという目的もある。また、中学校で行えば、市を大きく5校区で考えられる。校区毎に、考えの違いはあれ、中学校で行った方が良い。ただし、校区全学校の総意であれば、実施を止めるべき。文科省が10年続けて終了した施策を、なぜ現在も継続しているのか。PTAは任意団体であり、市教委から、実施を強制されるいわれはない。ふれあい推進事業だけが強制されている感が強い。違和感がある。二中校区は、4校の総意で止める決断をしたが、市教委からストップがかかっている。二中が中心となり、小学校に声をかけ新しい形を模索している。市教委から強制、制約を受けなければ、

いくらでも行う方法はある。奇天烈や商工会議所も協力できる。そもそも予算を使い切るという考えに違和感がある。

- ・タブレットに頼るだけではなく、思考する力をつけて卒業させたい。市教委はタブレットをどのように使用してほしいのか。本来学校ごとに異なってはよくない。もっと、市教委にイニシアティブをとってほしい。機械の危険性も、より教育したい。機械に使われたい。100%信用しない。そういったことを学校単位ではなく行政にイニシアティブをとってほしい。

5 会議録の承認

→議事録記載内容の一任、及び承認する。

6 今後の学校運営協議会の開催日程

→第2回： 6月6日（土） 9：30～

第3回：12月4日（金）10：30～

第4回： 2月4日（木）13：30～

第5回： 3月4日（木）13：30～

7 学校長謝辞